



アピナン・ポーサーナン

ヴィパート・プリチャーノン

アピナン・ポーサーナン（1956年、バンコク生まれ）は、著名なタイのキュレーター。キャリアの最初は作家として活動を始め、1980年代のタイでビデオ・アートやインスタレーションを紹介するという重要な役割を果たした。1990年にタイの近代美術に関する論文でコーネル大学より博士号を取得、その後、美術史家、キュレーターとして新たな道を進んだ。1996年にニューヨークのアジア・ソサエティーで開催され、アジア各国の現代美術を西欧の人々に広く知らしめた「アジアの現代美術：伝統／緊張」展は、彼が企画した注目すべき展覧会である。また2003年の第50回ヴェネチア・ビエンナーレへのタイ・パヴィリオン初参加や、2018年のバンコク・アート・ビエンナーレ（現在も続く）の開催など、国際的なプロジェクトをいくつも創始した。

ポーサーナンは、タイで現代美術を広め、タイの美術を海外に向けて発信してきた第一人者である。タイの現代美術のうち、公認されたものだけを紹介し、オルタナティブ・シーンを無視しているとしばしば批判されるものの、彼の論説やキュレーターとしてのヴィジョンは、タイの現代美術を知るために今も欠かすことはできない。



アピナン・ポーサーナン、1999年

関連リンク

書籍・論文

- アピナン・ポーサヤーナン 「辺境から見る『コン・アート』—東南アジアにおけるコンセプチュアル・アートの意味」 『アンソロジー「東南アジア美術の歴史を形づくる」』 (東京：国際交流基金アジアセンター、2017年) pp.149-153
https://www.jpfa.go.jp/j/publish/asia_exhibition_history/42_14_artstudies.html
- アピナン・ポーサヤーナン 「大国覇権主義以降のアジア美術」 『現代美術シンポジウム1994：アジア思潮のポテンシャル』 (東京：国際交流基金アセアン文化センター、1994年) pp.81-90
https://www.jpfa.go.jp/j/publish/asia_exhibition_history/15_94_potential.html

展覧会レビュー

- Artforum, “Contemporary Art in Asia: Traditions/Tensions”.
<https://www.artforum.com/print/reviews/199704/contemporary-art-in-asia-traditions-tensions-32841>.
- Vipash Purichanont, In search for ‘Thainess’, <https://www.bangkokpost.com/life/arts-and-entertainment/789133/in-search-of-thainess>.
- Thanavi Chotpradit, The Silence in Thai Contemporary Art, <https://artreview.com/ara-winter-16-feature-the-silence-in-thai-contemporary-art/>.

インタビュー

- Ocula, “Dr Apinan Poshyananda”. <https://ocula.com/magazine/conversations/dr-apinan-poshyananda/>.